

カスタマイズガイド

iPlanet Messenger Express

Release 5.0

816-0640-01
2000年9月

Copyright © 2000 Sun Microsystems, Inc. Some preexisting portions Copyright © 2000 Netscape Communications Corporation. All rights reserved.

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴ、JavaScript、iPlanet、および iPlanet のロゴは、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。Netscape および Netscape の N のロゴは、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の登録商標です。他の Netscape のロゴ、製品名、およびサービス名も、Netscape Communications Corporation の商標であり、他の国においては登録商標である場合があります。

米国政府による使用：市販ソフトウェア -- 米国政府ユーザには、標準の使用条件が適用されます。

本書で言及している製品の使用、コピー、配布、およびデコンパイルの制限はライセンス同意書に明記されています。Sun-Netscape Alliance. および該当するライセンス所有者の書面による事前の同意をなくしては、本書の一部または全体を、いかなる手段によっても複製することは禁止されています。

本書は、明示的または黙示的を問わず、いかなる種類の付加的保証も付けずに「そのままの形」で提供されます。本製品の商品価値、お客様の使用目的に対する適合性については、明示的、黙示的、または法定を問わず、一切の保証を致しません。ただし、このような限定保証が法的に認められていない地域においては例外です。

Copyright © 2000 Sun Microsystems, Inc. Pour certaines parties préexistantes, Copyright © 2000 Netscape Communications Corp. Tous droits réservés.

Sun, Sun Microsystems, et the Sun logo, iPlanet, et the iPlanet logo sont des marques de fabrique ou des marques déposées de Sun Microsystems, Inc. aux Etats-Unis et d'autre pays. Netscape et the Netscape N logo sont des marques déposées de Netscape Communications Corporation aux Etats-Unis et d'autre pays. Les autres logos, les noms de produit, et les noms de service de Netscape sont des marques déposées de Netscape Communications Corporation dans certains autres pays.

Le produit décrit dans ce document est distribué selon des conditions de licence qui en restreignent l'utilisation, la copie, la distribution et la décompilation. Aucune partie de ce produit ni de ce document ne peut être reproduite sous quelque forme ou par quelque moyen que ce soit sans l'autorisation écrite préalable de l'Alliance Sun-Netscape et, le cas échéant, de ses bailleurs de licence.

CETTE DOCUMENTATION EST FOURNIE "EN L'ÉTAT", ET TOUTES CONDITIONS EXPRESSES OU IMPLICITES, TOUTES REPRÉSENTATIONS ET TOUTES GARANTIES, Y COMPRIS TOUTE GARANTIE IMPLICITE D'APTITUDE À LA VENTE, OU À UN BUT PARTICULIER OU DE NON CONTREFAÇON SONT EXCLUES, EXCEPTÉ DANS LA MESURE OÙ DE TELLES EXCLUSIONS SERAIENT CONTRAIRES À LA LOI.

目次

本書について	7
対象読者	7
前提知識	7
本書の構成	8
マニュアルの表記規則	8
モノスペース フォント	8
太字のモノスペース フォント	8
斜体フォント	9
角括弧	9
コマンドラインプロンプト	9
関連情報	9
オンラインで本書を入手するには	9
第 1 章 Messenger Express とカスタマイズの概要	11
Messenger Express のカスタマイズの概要	11
Messenger Express のコンポーネント	12
カスタマイズ可能ファイルの場所	12
Messenger Express の他言語対応	13
特定のロケール	13
ロケール特有のカスタマイズ可能ファイルの場所	14
基本的なインターフェイスと関連する関数	14
受信箱画面	15
受信箱画面に関連する関数	15
メッセージ画面	16
メッセージ画面に関連する関数	17
フォルダ画面	18
フォルダ画面に関連する関数	18
オプション画面	19
オプション画面に関連する関数	19
作成ウィンドウ	20
作成ウィンドウに関連する関数	21

第 2 章 一般機能のカスタマイズ	23
ログイン画面のカスタマイズ	23
ログイン画面に関するカスタマイズの内容	24
例 - ログイン画面のカスタマイズ	25
カラーセットのカスタマイズ	26
カラーセットに関するカスタマイズの内容	26
例 - カラーセットのカスタマイズ	28
コーナー ロゴとリンクのカスタマイズ	28
コーナー ロゴとリンクに関するカスタマイズの内容	29
例 - コーナー ロゴとリンクのカスタマイズ	29
タイトルテキストのカスタマイズ	30
タイトルテキストに関するカスタマイズの内容	30
例 - タイトルテキストのカスタマイズ	30
ブランドイメージのカスタマイズ	31
ブランドイメージに関するカスタマイズの内容	31
例 - ブランドイメージのカスタマイズ	31
第 3 章 ユーザ インターフェイス機能の カスタマイズ	33
メイン機能タブのカスタマイズ	33
メイン機能タブに関するカスタマイズの内容	34
例 - メイン機能タブのカスタマイズ	34
[メールボックス] ツールバーのカスタマイズ	35
[メールボックス] ツールバーに関するカスタマイズの内容	35
例 - [メールボックス] ツールバーのカスタマイズ	36
メッセージリスト ウィンドウのカスタマイズ	37
メッセージリスト ウィンドウに関するカスタマイズの内容	38
例 - メッセージリスト ウィンドウのカスタマイズ	38
メッセージ表示ウィンドウのカスタマイズ	39
メッセージ表示ウィンドウに関するカスタマイズの内容	40
例 - メッセージ表示ウィンドウのカスタマイズ	40
[メッセージ] ツールバーのカスタマイズ	41
[メッセージ] ツールバーに関するカスタマイズの内容	41
例 - [メッセージ] ツールバーのカスタマイズ	42
メッセージ作成ウィンドウのカスタマイズ	43
メッセージ作成ウィンドウに関するカスタマイズの内容	44
例 - メッセージ作成ウィンドウのカスタマイズ	45
アドレス (ディレクトリ検索) ウィンドウのカスタマイズ	46
アドレス (ディレクトリ検索) ウィンドウに関するカスタマイズの内容	46
例 - アドレス (ディレクトリ検索) ウィンドウのカスタマイズ	47
オプション ウィンドウのカスタマイズ	48
オプション ウィンドウに関するカスタマイズの内容	48
例 - オプション ウィンドウのカスタマイズ	49
フォルダ ウィンドウのカスタマイズ	50
フォルダ ウィンドウに関するカスタマイズの内容	50
例 - フォルダ ウィンドウのカスタマイズ	51

第 4 章 高度な機能のカスタマイズ	53
高度なカスタマイズについて	53
Messenger Express ユーザ インターフェイスのカスタマイズ可能な機能	54
添付ファイルのオプション	54
HTML ファイル マッピング	54
「他のサーバからのメール収集」に関するオプション	54
HTML ファイル マッピング	55
メッセージの作成	55
HTML ファイル マッピング	55
フォルダ管理タブ	55
HTML ファイル マッピング	55
アドレス検索	56
HTML ファイル マッピング	56
メールボックス管理タブ	56
HTML ファイル マッピング	56
個人用オプション管理 ([オプション] タブ)	57
HTML ファイル マッピング	57
配達証明書	57
HTML ファイル マッピング	57
第 5 章 Messenger Express サービスに対する認証の管理	59
認証の概要	59
SDK に含まれているファイル	60
SDK 設定の初期化	60
SDK 検索	61
SDK クリーンアップ	62
使用例	63
索引	65

本書について

本書では、iPlanet Messenger Express 5.0 の外観と使い心地をカスタマイズする方法について説明します。製品アーキテクチャ上は、Messenger Express の HTTP デーモンによって処理されるページの「静的な」部分は、ほとんど制限なくカスタマイズできます。しかし、本書では、一般によく必要とされるカスタマイズの実行方法についてのみ記述しています。また、個々のカスタマイズ作業は一つのアプリケーションの中で行うという設定なので、文中すべての例、コード、スクリーンショットなどには関連性があり、相互に参照できます。

この章には、以下の項目があります。

- 対象読者
- 前提知識
- 本書の構成
- マニュアルの表記規則
- 関連情報
- オンラインで本書を入手するには

対象読者

本書は、iPlanet Messaging Server 5.0 の管理、設定、およびカスタマイズに行う人を対象にしています。また、開発者にも参考になる情報が記載されています。

前提知識

本書では、読者が iPlanet Messaging Server ソフトウェアに精通しており、以下に挙げる事項について理解していることを前提としています。

- JavaScript™
- HTML

- 電子メール アプリケーション
- Web サイト開発

本書の構成

本書には、以下の章があります。

- 本書について (本章)
- 第1章 「Messenger Express とカスタマイズの概要」
iPlanet Messenger Express の外観と使い心地をカスタマイズする方法の概要について説明しています。
- 第2章 「一般機能のカスタマイズ」
iPlanet Messenger Express の一般的な機能をカスタマイズする方法について説明しています。
- 第3章 「ユーザ インターフェイス機能のカスタマイズ」
iPlanet Messenger Express のユーザ インターフェイスをカスタマイズする方法について説明しています。
- 第4章 「高度な機能のカスタマイズ」
高度なカスタマイズ テクニックについて説明しています。
- 第5章 「Messenger Express サービスに対する認証の管理」
他の認証機構を iPlanet Messenger Express に統合する方法について説明しています。

マニュアルの表記規則

モノスペース フォント

モノスペース フォント (Monospaced font) は、コンピュータ画面に表示されるテキスト、またはユーザが入力するテキストを表します。また、ファイル名、識別名、機能、および使用例を表す場合にも使用されます。

太字のモノスペース フォント

太字のモノスペース フォント (**bold monospaced font**) は、コード例中のユーザが入力するテキストを表します。

斜体フォント

斜体フォントは、お使いのシステムに固有な情報を使って入力するテキスト(たとえば、変数など)を表します。サーバのパスや名前、およびアカウント ID などに使用します。

角括弧

オプションのパラメータは、角括弧 [] で囲まれています。

コマンドラインプロンプト

このマニュアルの各例では、コマンドラインプロンプト(たとえば、C シェルの %、Korn/Bourne シェルの \$ など)が表示されていません。お使いのオペレーティングシステムの環境によって、コマンドラインプロンプトが異なるためです。ただし、特に補足されていないかぎり、コマンドは本書で示すとおりに入力してください。

関連情報

iPlanet Messaging Server 5.0 には、本書の他に、管理者用の補足情報およびエンドユーザや開発者用のマニュアルもあります。Messaging Server に関する各マニュアルの情報については、以下の URL をご利用ください。

<http://docs.ipplanet.com/docs/manuals/messaging.html>

オンラインで本書を入手するには

『カスタマイズガイド』は、オンラインで入手することができます(PDF および HTML 形式)。以下の URL をご利用ください。

<http://docs.ipplanet.com/docs/manuals/messaging.html>

オンラインで本書を入手するには

Messenger Express とカスタマイズの概要

iPlanet Messenger Express 5.0 は Web ベースの電子メール プログラムです。このプログラムを使うと、インターネットに接続したコンピュータ システム上のブラウザから、エンドユーザが各自のメールボックスに HTTP を使用してアクセスできます。Messenger Express のクライアントから送信されたメールは、まず iPlanet Messaging Server の一部である特殊な Web サーバに送られます。その後、HTTP サービスによってローカルの MTA (Message Transfer Agent) に送信されるか、リモートの MTA に送信されてルーティングまたは配信されます。

Messenger Express 機能は、そのほとんどすべてを自由にカスタマイズできます。本書では、そのうちの基本的な機能についてのみ説明します。ほとんどの機能は、アップグレードを行う際に簡単にカスタマイズすることができます。

この章には、以下の項目があります。

- Messenger Express のカスタマイズの概要
- Messenger Express の他言語対応
- 基本的なインターフェイスと関連する関数

Messenger Express のカスタマイズの概要

iPlanet Messenger Express 5.0 では、Messenger Express HTTP デーモンによって処理されるページの「静的な」部分を書き換えることにより、Web メールサービスを自由にカスタマイズできます。Messenger Express は、カスタマイズの実行手段として JavaScript と HTML の両方をサポートしています。

Messenger Express のコンポーネント

iPlanet Messenger Express は、クライアントとサーバの 2 つのコンポーネントから構成されています。クライアントは、JavaScript 言語を読み取って、解釈します。一方、HTTP サーバは、Messenger Express と通信するために専用のプロトコルを使用します。JavaScript ファイルは、サーバ内に保存されており、クライアントにダウンロードされます。クライアントは、JavaScript コードからデータを抽出して Messenger Express の各関数をカスタマイズします。ただし、変更およびカスタマイズはすべてサーバ上で行われます。

HTML ファイルには、テキストとマークアップ (テキストの書式と処理方法を記述したもの) の両方が含まれています。マークアップは、ヘッダー、インデント、フォント サイズ、斜体などを定義した一連のタグにより実行されます。これらは主にスタティック タグで、クライアント上で HTML ファイル内のテキストを処理するためのものです。ただし、HTML には、クライアント ファイルに埋め込まれた JavaScript など、ダイナミック タグも含まれています。これらのタグは、サーバ上のファイルや関数をポイントするためのものです。これらのタグを使用すると、HTML ファイルクライアントがサーバで処理されたデータを取り込んで、それをスタティック Web ページ内で使用することができます。

HTML ファイルでは、各インターフェイスがスケルトン構造になっています。一方、JavaScript ファイルには、様々な属性が設定されています。JavaScript の各メイン関数は、それぞれ 1 つの親関数内に含まれています。また、各 JavaScript ファイルには、それぞれ特徴があります。main.js ファイルは主にインターフェイスのレイアウトを制御し、i18n.js ファイルはテキストを制御します。また、i18n.js ファイルは、各言語対応にすることも可能です。

HTML ファイルは、JavaScript ファイル内の「メイン」関数を呼び出してアクションを起こすための「親」関数です。

カスタマイズ可能ファイルの場所

カスタマイズ可能な Messenger Express JavaScript ファイルおよび HTML ファイルは、サーバ- ルート /html ディレクトリ内にあります。この「サーバ- ルート」とは、Messaging Server ソフトウェアがインストールされているディレクトリへのパスを表しています。

表 1-1 に、Messenger Express をカスタマイズする際に編集するファイル、および各ファイルを使って制御できる Messenger Express の部分を示します。

表 1-1 Messenger Express のカスタマイズ可能ファイル

ファイル	Messenger Express での制御対象
main.js	UI のレイアウト
言語/i18n.js	UI のテキスト
mbox_fs.html	UI のメールボックス管理部分
msg_fs.html	UI のメッセージ管理部分
fldr_fs.html	UI のフォルダ管理部分

表 1-1 Messenger Express のカスタマイズ可能ファイル (続き)

ファイル	Messenger Express での制御対象
opts_fs.html	UI のオプション管理部分
comp_fs.html	メッセージの作成
言語/default.html	ログイン画面
ldap_fs.html	アドレス検索
attach_fs.html	添付ファイル
collect_fs.html	他のサーバからのメール収集
receipt_fs.html	配達証明書

Messenger Express の他言語対応

iPlanet Messenger Express の機能はすべて各言語対応化が可能で、ユーザが使用する言語ごとに別のページを作成できます。言語ごとに静的な Web ページを作成する際には、それらをグループに分け、メインドキュメントディレクトリの下の子ディレクトリに配置します。これにより、クライアントの優先言語が Web メールコードによって自動検出され、該当するサブディレクトリから Web メールページが取り込まれるようになります。

静的な Web メールページの共通部分を変更する際に、各言語に対して修正 (JavaScript 動作の修正など) を行う場合は、同じ変更を複数回繰り返す必要があります。逆に、言語特有の修正は、対象となる言語のアプリケーションについてだけ行います。

特定のロケール

表 1-2 に、Messenger Express で使用できる特定のロケール (およびその略語) を示します。このプロトコルのデフォルト言語は英語です。

表 1-2 Messenger Express の特定ロケール

ロケール	略語
英語	en
日本語	ja
スペイン語	es
フランス語	fr
ドイツ語	de

ロケール特有のカスタマイズ可能ファイルの場所

ローカライズされた Messenger Express の JavaScript および HTML ファイルは、「サーバ - ルート /html/ ロケール_ 特有」ディレクトリに保存されます。この「サーバ - ルート」とは、Messaging Server ソフトウェアがインストールされているディレクトリへのパスを表しています。

基本的なインターフェイスと関連する関数

この節では、以下の Messenger Express 画面に関連する基本的な関数を紹介します。

- 受信箱画面
- メッセージ画面
- フォルダ画面
- オプション画面
- 作成ウィンドウ

以下に示す表では、Messenger Express 画面上の各ボタンに関連した関数を一覧表示します。

関数を含むファイルは、サーバ - ルート /html ディレクトリにあります。この「サーバ - ルート」は、Messaging Server ソフトウェアがインストールされているディレクトリへのパスを表しています。

受信箱画面

Messenger Express の受信箱画面には、すべてのメッセージが表示され、各メッセージに対して開封済みであるかどうかを示されます (図 1-1 を参照)。新しいメッセージが届いているかどうかは、この受信箱画面を見て判断することができます。また、既存のメッセージを検索、削除したり、他のフォルダに移動することもできます。

図 1-1 Messenger Express の受信箱画面



受信箱画面に関連する関数

表 1-3 に、main. 関数 (main.js 内) や parent. 関数 (mbox_fs.html 内) など、受信箱画面をカスタマイズするのに必要な関数を一覧表示します。

表 1-3 受信箱画面に関連する関数

項目	関数
フォルダ	main.displayFolders()
受信箱	main.displayMbox() または refreshMbox()
メッセージ	main.selectMsg()
アドレス	main.displayPab()
オプション	main.selectOptions()
ヘルプ	main.help()

表 1-3 受信箱画面に関連する関数 (続き)

項目	関数
ログアウト	<code>main.logout()</code>
メールの受信	<code>main.folderRefresh=true;main.refreshMbox()</code>
作成	<code>main.compose('\new')</code>
検索	<code>parent.srch()</code>
メッセージをフォルダに移動	<code>parent.move()</code>
削除 / 削除解除	<code>parent.delmsg()</code>
外部メールの収集	<code>main.collect()</code>

メッセージ画面

Messenger Express のメッセージ画面は、受信箱画面で選択したメッセージの内容を表示するためのものです (図 1-2 を参照)。この画面には、差出人への返信、メッセージの転送、メッセージの削除といった操作を実行したり、メッセージを別のフォルダへ入れるためのオプションがあります。また、次のメッセージあるいは前のメッセージに直接アクセスすることもできます。

図 1-2 Messenger Express メッセージ画面



メッセージ画面に関連する関数

表 1-4 に、`main.` 関数 (`main.js` 内) や `parent.` 関数 (`msg_fs.html` 内) など、メッセージ画面をカスタマイズするのに必要な関数を一覧表示します。

表 1-4 メッセージ画面に関連する関数

項目	関数
作成	<code>main.compose(\`new\`)</code>
返信	<code>main.compose(\`reply\`)</code>
全員に返信	<code>main.compose(\`replyall\`)</code>
転送	<code>main.compose(\`forward\`)</code>
メッセージをフォルダに移動	<code>parent.move()</code>
削除 / 削除解除	<code>parent.delmsg()</code>
前へ	<code>parent.prev()</code>
次へ	<code>parent.next()</code>

フォルダ画面

Messenger Express のフォルダ画面には、アクセス可能なすべてのフォルダ (図 1-3 を参照)、および各フォルダに保存されているメッセージの数とそのサイズが表示されます。また、この画面では、新規フォルダの作成、フォルダ名の変更、既存フォルダの削除、フォルダの移動、受信箱の更新、および新規メッセージの作成といった操作を行うこともできます。受信箱画面と同じように、フォルダ画面にも外部メールを収集するための機能があります。

図 1-3 Messenger Express のフォルダ画面



フォルダ画面に関連する関数

表 1-5 に、main. 関数 (main.js 内) や parent. 関数 (fldr_fs.html 内) など、フォルダ画面をカスタマイズするのに必要な関数を一覧表示します。

表 1-5 フォルダ画面に関連する関数

項目	関数
更新	main.refreshFolders ()
作成	main.compose (\ 'new\ ')
新規	parent.addFolder ()
名前の変更	parent.renameFolder ()
選択したフォルダの移動先	parent.moveFolder (options [selectedIndex] .value)

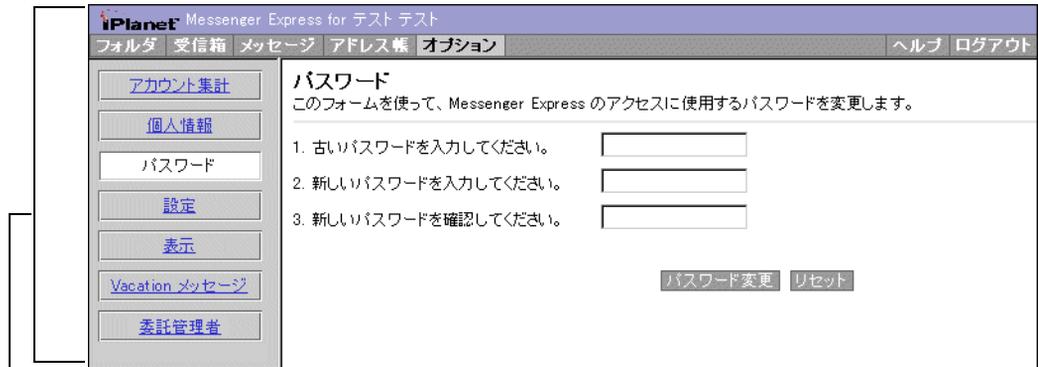
表 1-5 フォルダ画面に関連する関数 (続き)

項目	関数
削除	parent.delFolder()
フォルダの選択	parent.select('i')

オプション画面

Messenger Express のオプション画面から、契約者のアカウント集計、個人情報、パスワード、設定、表示、委託管理者、および vacation メッセージの画面を表示できます。これらはすべて調整することが可能です (図 1-4 を参照)。

図 1-4 Messenger Express のオプション画面



オプション表示

オプション画面に関連する関数

表 1-6 に、オプション画面をカスタマイズするのに必要な parent. 関数 (opts_fs.html 内) を一覧表示します。

表 1-6 オプション画面に関連する関数

項目	関数
アカウント集計	parent.toggle(\ 'summary\ ')
個人情報	parent.toggle(\ 'personal\ ')
パスワード	parent.toggle(\ 'password\ ')
設定	parent.toggle(\ 'settings\ ')
表示	parent.toggle(\ 'appearance\ ')

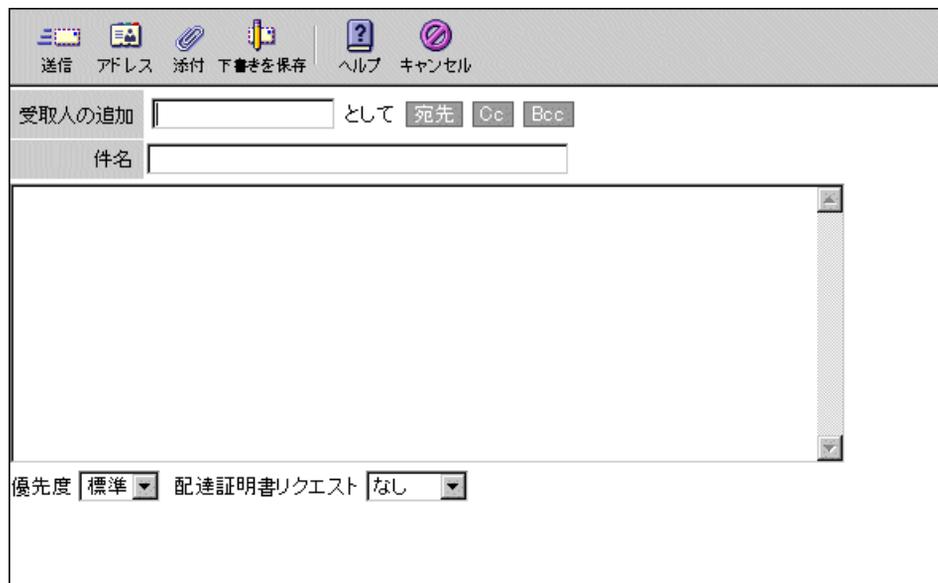
表 1-6 オプション画面に関連する関数 (続き)

項目	関数
Vacation メッセージ	<code>parent.toggle(\`vacation\`)</code>
Delegated Administrator (委託管理者)	<code>parent.toggle(\`NDA\`)</code>

作成ウィンドウ

Messenger Express の作成ウィンドウは、主に新規メッセージを作成するために使用します (図 1-5 を参照)。その他にも、このウィンドウを使って、下書きを保存したり、メッセージにファイルを添付したり、アドレス帳で受取人を検索することができます。また、ヘルプファイルにアクセスしたり、メッセージの作成を取り消すこともできます。受取人は「宛先」、「Cc」、「Bcc」として追加することができ、また、差出人の追加も可能です。さらに、作成ウィンドウには、メールの優先度を指定したり、配達証明書を要求するためのオプションもあります。

図 1-5 Messenger Express の作成ウィンドウ



作成ウィンドウに関連する関数

表 1-7 に、`main.` 関数 (`main.js` 内) や `parent.` 関数 (`comp_fs.html` 内) など、作成ウィンドウをカスタマイズするのに必要な関数を一覧表示します。

表 1-7 作成ウィンドウに関連する関数

項目	関数
送信	<code>parent.send(\`smtp\`)</code>
アドレス	<code>parent.lookup()</code>
添付	<code>main.attach()</code>
下書きを保存	<code>parent.send(\`draft\`)</code>
ヘルプ	<code>main.help(1007399)</code>
キャンセル	<code>parent.cancel()</code>
宛先 /Cc/Bcc	<code>parent.add()</code>

一般機能のカスタマイズ

この章では、iPlanet Messenger Express 5.0 の一般機能のカスタマイズする方法について説明します。

この章には、以下の項目があります。

- ログイン画面のカスタマイズ
- カラーセットのカスタマイズ
- コーナーロゴとリンクのカスタマイズ
- タイトルテキストのカスタマイズ
- ブランドイメージのカスタマイズ

ログイン画面のカスタマイズ

この節では、Messenger Express のログイン画面 (図 2-1 を参照) をカスタマイズする方法について説明します。

図 2-1 Messenger Express のログイン画面



The image shows a screenshot of the iPlanet Messenger Express login interface. At the top, there is a dark blue header with the iPlanet logo and the text "Messenger Express". Below the header, there are two input fields: "ユーザ名" (Username) and "パスワード" (Password). At the bottom of the form, there is a "ログイン" (Login) button and a checkbox labeled "新規のウィンドウ" (New window).

ログイン画面に関するカスタマイズの内容

Messenger Express のログイン画面では、以下の変更を行うことができます。

- ログおよびリンクをカスタム グラフィックおよびカスタム リンクに変更する
- カラー スキームを変更する
- サービス名を変更する (例 : Messenger Express)

ログイン画面をカスタマイズするには

- 言語 /default.html ファイルを編集します。

画面の表示内容を変更するには、言語 /default.html ファイルの本文部分を編集します。言語 /default.html には、以下のような 4 つのフォーム (2 つは画面に表示され、残りの 2 つは表示されません) が含まれています。

- [ユーザ名] フォーム (表示)
- [パスワード]、[ログイン] ボタン、[新規のウィンドウ] ボックスを含むフォーム (表示)
- [同じウィンドウにログイン] フォーム (非表示)
- [新しいウィンドウにログイン] フォーム (非表示)

実際にサーバに送られるのは、非表示のフォームのみです (ユーザ名およびパスワードを login.msc に POST)。

画面に表示されているフォームを送信すると post() 関数が呼び出され、この関数によって login() が呼び出されます。そして、login() が表示フォームに入力された値に基づいて非表示フォームを完成し、[新規のウィンドウ] ボックスがチェックされているかどうかに基づいて適切な非表示フォームをサーバに送ります。新規のウィンドウを開く場合は、サーバが応答できるように、FORM タグ内に TARGET ウィンドウを指定します。

例 - ログイン画面のカスタマイズ

図 2-2 は、iPlanet ログをカスタム グラフィックおよびカスタム リンクに変更し、カラー スキームをえび茶と銀に変更し、タイトル テキストを [Web Mail サービス] に変更した場合の例です。

図 2-2 ログイン画面のカスタマイズ例



コード例 2-1 およびコード例 2-2 は、それぞれ編集前と編集後の en/default.html ファイルを示しています。

コード例 2-1 ログイン画面をカスタマイズする前

```
<body bgcolor="white" link="#666699" vlink="#666699" alink="#CCCCFF">
....
<td bgcolor="#666699">
....
<td width="24"><a href="http://www.ipplanet.com/" target="_top">
</a></td>
<td><font face="PrimaSans BT,Verdana,sans-serif" color="white"
size="-1"><font color="#CCCCCC" size="-2"><sup></sup></font><b>
Messenger Express</b></font></td>
....
<td bgcolor="#CCCCCC">
....
</body>
```

コード例 2-2 ログイン画面をカスタマイズした後

```
<body bgcolor="white" link="#666699" vlink="#666699" alink="#CCCCFF">
.....
<td bgcolor="#800000">
```

コード例 2-2 ログイン画面をカスタマイズした後

```
.....  
<td width="24"><a href="http://siroe.org" target="_top">  
</a></td>  
<td><font face="PrimaSans BT,Verdana,sans-serif" color="white"  
size="-1"><font color="CCCCCC" size="-2"><sup></sup></font><b>  
Web Mail サービス </b></font></td>  
.....  
<td bgcolor="#C0C0C0">  
.....  
</body>
```

カラーセットのカスタマイズ

この節では、iPlanet Messenger Express ユーザインターフェイスのカラーセット (図 2-3 を参照) をカスタマイズする方法について説明します。

図 2-3 Messenger Express カラーセット



カラーセットに関するカスタマイズの内容

Messenger Express ユーザインターフェイスのデフォルトのカラーセットをカスタマイズして、タイトルバー、タブの外枠、カラムヘッダーなどの色を変更できます。

ユーザ インターフェイスのカラー セットをカスタマイズするには

- main.js ファイルの始めの方にある ui [] array の定義を編集します。

main.js の refreshColorSet () 関数は、chrome1、accent2 など、インターフェイスのカラー スキームの値を設定するためのものです。この値は、main.js 内のその他の表示関数で使用されます。

ui [] 要素が実際にどのようなカラー値に変換されるかについては、main.js の refreshColorSet () を見てください。

ui [] array には、必要に応じて複数の行を含めることができます。main.js で新しい行を定義すると、新しいカラー スキームが環境設定ページに表示されます。定義スクリプトから行が削除され、ユーザの環境が ui [] array にあるものよりも上位のカラー テーブル インデックスをポイントしている場合、ユーザの JavaScript アプリケーションは起動しません。

表 2-1 に、ui [] コントロールのカラー インデックスを示します。

表 2-1 ui [] コントロールのカラー インデックス

インデックス	名前	決定事項
0	accent0	未使用
1	accent1	タイトル バー
2	accent2	未使用
3	chrome0	タブの外枠
4	chrome1	選択されていないタブのバックグラウンド
5	chrome2	選択されているタブのバックグラウンド、ツールバー、カラム ヘッダーなど
6	chrome3	テーブル セルのバックグラウンド
7	ch3_img	未使用
8	link0	アクセスされていないリンク
9	link1	アクセス済みのリンク (概してアクセスされていないリンクと同じ)
10	link2	アクティブなリンク
11	positive	線 (白)
12	negative	線 (黒)
13	white	ページのバックグラウンド

例 - カラー セットのカスタマイズ

図 2-4 は、デフォルトのカラー セットをカスタマイズして、accent1 の色をえび茶に、chrome4 の色を紺に、chrome5 の色を銀にそれぞれ変更した場合の例です。

図 2-4 カラー セットのカスタマイズ例



コード例 2-3 は、編集後の main.js ファイルを示しています。

コード例 2-3 カラー セットを変更した場合

```
var ui = new Array()  
  
ui[0] = new array('666699','800000','CCCCFF','666666','000080','C0C0C0',  
'E6E6E6','gray90.gif','3333CC','3333CC','333366','FFFFFF','000000','FFFFFF',  
'000000')
```

コーナー ロゴとリンクのカスタマイズ

この節では、Messenger Express のコーナー ロゴおよびリンク (図 2-5 を参照) をカスタマイズする方法について説明します。

図 2-5 Messenger Express のコーナー ロゴとリンク



コーナー ログとリンクに関するカスタマイズの内容

Messenger Express のコーナー ログおよびリンクは、以下のようにカスタマイズできます。

- ログをカスタム グラフィックに変更する
- リンク先を変更する

コーナー ログとリンクをカスタマイズするには

- main.js ファイルの toolFrame() 関数を編集します。

例 - コーナー ログとリンクのカスタマイズ

図 2-6 は、iPlanet ログを異なるサイズのカスタム ログで置き換え、リンク先を変更した場合の例です。

図 2-6 コーナー ログとリンクのカスタマイズ例



コード例 2-4 は、編集後の main.js ファイルを示しています。

コード例 2-4 ログとリンクを変更した場合

```
function toolFrame() {
  ....
  '<a href="http://www.siroe.org" ' +
  ' target="Netscape"></a>' + '</td><td>' +
  ....
}
```

タイトル テキストのカスタマイズ

この節では、Messenger Express のタイトル テキスト (図 2-7 を参照) をカスタマイズする方法について説明します。

図 2-7 Messenger Express のタイトル テキスト



タイトル テキストに関するカスタマイズの内容

Messenger Express のタイトル テキストを他のサービス名に変更することができます。

タイトル テキストをカスタマイズするには

- タイトル テキストのレイアウトを変更するには、main.js ファイルの toolFrame() 関数を編集します。タイトル テキストそのものを変更するには、言語 /i18n.js ファイルの i18n_tab_header() 関数を編集します。

一般に、言語 /i18n.js ファイル内のすべての Messenger Express 文字列をカスタムブランド名に置き換えることにより、インターフェイスを簡単にカスタマイズすることができます。

例 - タイトル テキストのカスタマイズ

図 2-8 は、テキストを [ユーザの Web Mail サービス] に変更した場合の例です。

図 2-8 タイトル テキストのカスタマイズ例



コード例 2-5 は、編集後の en/i18n.js ファイルを示しています。

コード例 2-5 タイトル テキストを変更した場合

```
function i18n_tab_header(user) {  
  return user + ' <nobr> の Web Mail サービス </nobr> '  
}
```

ブランドイメージのカスタマイズ

この節では、ブランドイメージ (図 2-9 を参照) をカスタマイズする方法について説明します。

図 2-9 Messenger Express のブランドイメージ



空白のスペーサ グラフィック

ブランドイメージに関するカスタマイズの内容

Messenger Express のブランドイメージは、以下のようにカスタマイズできます。

- サーバのカスタム ブランド ロゴを追加する
- ブランドイメージのサイズを変更する

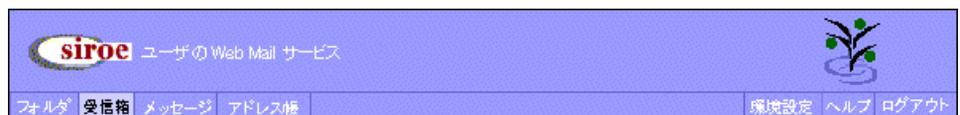
ブランドイメージをカスタマイズするには

- main.js ファイルを編集します。
 - ブランドイメージをカスタマイズするには、main.js ファイルの始めの方にある brandht 値 (高さ)、brandwd 値 (幅)、brandimg 値 (イメージの位置) を変更します。デフォルトは、空白のスペーサのグラフィック (1x16) です。
 - イメージの表示方法をカスタマイズするには、main.js ファイルの始めの方にある brand 値 (他の値に基づいて生成された IMG タグ) を変更します。
 - ブランドの設定をより詳細にカスタマイズするには、main.js ファイルの toolFrame () 関数を編集します。

例 - ブランドイメージのカスタマイズ

図 2-10 は、Messenger Express を別のブランドイメージで置き換えた例です。

図 2-10 ブランドイメージのカスタマイズ例



ブランドイメージのカスタマイズ

コード例 2-6 は、編集後の main.js ファイルを示しています。

コード例 2-6 ブランドイメージを変更した場合

```
// トップ フレームにブランド名を挿入するには、これを該当するテキストまたはイメージに設定
// Navigator 3.x で正しく表示されるようにするには、必ず高さと幅を指定すること
var brandht = 45
var brandwd = 45
var brandwd = 45
```

ユーザ インターフェイス機能の カスタマイズ

この章では、iPlanet Messenger Express 5.0 のユーザ インターフェイスの機能をカスタマイズする方法について説明します。

この章には、以下の項目があります。

- メイン機能タブのカスタマイズ
- [メールボックス] ツールバーのカスタマイズ
- メッセージリスト ウィンドウのカスタマイズ
- メッセージ表示ウィンドウのカスタマイズ
- [メッセージ] ツールバーのカスタマイズ
- メッセージ作成ウィンドウのカスタマイズ
- アドレス (ディレクトリ検索) ウィンドウのカスタマイズ
- オプション ウィンドウのカスタマイズ
- フォルダ ウィンドウのカスタマイズ

メイン機能タブのカスタマイズ

この節では、Messenger Express のメイン機能タブ (図 3-1 を参照) をカスタマイズする方法について説明するとともに、ファイルの編集例を紹介します。

図 3-1 Messenger Express のメイン機能タブ (デフォルトのラベル)



メイン機能タブに関するカスタマイズの内容

Messenger Express のメイン機能タブは、以下のようなカスタマイズができます。

- タブのレイアウトを変更する
- タブ ラベルのテキストを変更する

メイン機能タブをカスタマイズするには

- 必要に応じて以下のようにファイルを編集します。
 - タブのレイアウトを変更するには、`main.js` ファイルの `toolFrame()` 関数を編集します。
 - タブ ラベルのテキストを変更するには、`言語/i18n.js` ファイルの `// Tabs` セクションにある `folders`、`message`、`options` の `i18n[]` 値、および `// Tool Bars` セクションにある `help` と `logout` の `i18n[]` 値を編集します。
 - デフォルトのフォルダ名ラベル (最初に表示される 受信箱タブ ラベルを含む) のテキストを変更するには、`言語/i18n.js` ファイルの `// Localized folder names` セクションにある `fldr[]` 値を編集します。

タブは `toolFrame()` によって構成されており、この関数によって、表示するタブ ラベル、現在選択されているかどうかを示すフラグ、タブがクリックされた際に呼び出される関数などを指定する `main.js` ファイルの `tab()` 関数が呼び出されます。

以下に挙げるのは、デフォルトのタブを処理する `main.js` ファイル内の関数です。

- フォルダ: `displayFolders()`
- 受信箱: (状態によって) `displayMbox()` または `refreshMbox()`
- メッセージ: `selectMsg()`
- オプション: `selectOptions()`
- ヘルプ: `help()`
- ログアウト: `logout()`

例 - メイン機能タブのカスタマイズ

図 3-2 は、[オプション] タブを右側に移動し、ラベルを [環境設定] に変更した場合の例です。

図 3-2 メイン機能タブのカスタマイズ例



コード例 3-1 およびコード例 3-2 は、それぞれ編集後の main.js ファイル (レイアウト) および en/i18n.js ファイル (タブ ラベル) を示しています。

コード例 3-1 メイン機能タブのレイアウトを変更した場合 (main.js)

```
function toolFrame() {
  .....
  '<td width=50%>' + nbsp + '</td>\n' +
  tab(i18n['options'], state == 'options', 'selectOptions()') +
  .....
}
```

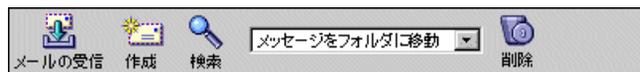
コード例 3-2 メイン機能タブのラベルを変更した場合 (en/i18n.js)

```
// Tabs
i18n['folders'] = 'フォルダ'
i18n['message'] = 'メッセージ'
i18n['options'] = '環境設定'
```

[メールボックス] ツールバーのカスタマイズ

この節では、Messenger Express の [メールボックス] ツールバー (図 3-3 を参照) をカスタマイズする方法について説明するとともに、ファイルの編集例を紹介します。

図 3-3 Messenger Express の [メールボックス] ツールバー



[メールボックス] ツールバーに関するカスタマイズの内容

Messenger Express の [メールボックス] ツールバーは、以下のようなカスタマイズができます。

- ツールの順番を変更する
- ツールのテキストを変更する

[メールボックス] ツールバーをカスタマイズするには

- 必要に応じて以下のようにファイルを編集します。
 - ページに対するツールバーの相対的レイアウトを変更するには、main.js ファイルの toolFrame() 関数を編集します。
 - ツールバー内部のレイアウトおよびグラフィックを変更するには、mbox_fs.html ファイルの getToolBar() 関数を編集します。
 - ツールバーのグラフィックに関連付けられているテキストを変更するには、言語/i18n.js ファイルの get mail、compose、search、new search、file selected message、delete、undelete、および expunge の I18n[] 値を編集します。

main.js の toolFrame() は、mbox_fs.html の getToolBar() を呼び出して、ページに書き出す HTML コードを取得します。

mbox_fs.html の getToolBar() は、色の項目とテキストだけのバージョンの項目などの項目を制御する main.js の toolbar() を呼び出すことにより、コードをアセンブルし、各関数をグラフィックに割り当てます。

また、mbox_fs.html の getToolBar() は、main.js の folderSelection() を呼び出してドロップダウンフォルダリストを生成します。

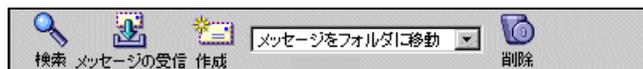
クリックに反応できるように mbox_fs.html の getToolBar() によって各ツールに割り当てられている関数は、以下のとおりです。

- メールを受信: main.js の refreshMbox()
- 作成: main.js の compose("new")
- 検索: parent.srch()
- メッセージをフォルダに移動: parent.move()
- 削除: parent.delmsg()、parent.undelmsg()、parent.exmsg() (ごみ箱フォルダ内であるかどうかによって異なります。)

例 - [メールボックス] ツールバーのカスタマイズ

図 3-4 は、[検索] を左端に移動し、[メールを受信] を [メッセージを受信] に変更した場合の例です。

図 3-4 [メールボックス] ツールバーのカスタマイズ例



コード例 3-3 およびコード例 3-4 は、それぞれ編集後の mbox_fs.html (レイアウト) および en/i18n.js (テキスト) を示しています。

コード例 3-3 ツールバーのレイアウトを変更した場合 (mbox_fs.html)

```
function getToolbar() {
  ....
  main.toolbar(
    ....
    (main.srch != '' ? i18n['new search'] : i18n['search']),
    'parent.srch()', 'imx/search.gif', 27, 25, true,
    i18n['get mail'], 'main.refreshMbox()', 'imx/pull.gif', 27, 25, true,
    i18n['compose'], 'main.compose("new")', 'imx/compose.gif', 27, 25, true)
  ....
}
```

コード例 3-4 ツールバーのテキストを変更した場合 (en/i18n.js)

```
// Tool Bars
....
i18n['get mail'] = 'メッセージの受信'
```

メッセージ リスト ウィンドウのカスタマイズ

この節では、Messenger Express のメッセージリストウィンドウ (図 3-5 を参照) をカスタマイズする方法について説明するとともに、ファイルの編集例を紹介します。

図 3-5 Messenger Express のメッセージ リスト ウィンドウ

<input type="checkbox"/>		送信日時 ▾	差出人		サイズ	件名
<input type="checkbox"/>		9:59 午前	テスト テスト		1K	テスト
<input type="checkbox"/>		10:00 午前	テスト テスト		1K	テスト
<input type="checkbox"/>		10:02 午前	テスト テスト		2K	メッセージ - アタッチメント
<input type="checkbox"/> 全メッセージを選択						
3 メッセージ (2 未開封) - 8K (無制限) - 6 メッセージ合計 (無制限)						外部メールの収集

メッセージ リスト ウィンドウに関するカスタマイズの内容

Messenger Express のメッセージ リスト ウィンドウは、以下のようなカスタマイズができます。

- デフォルトのメッセージの表示の順序を変更する
- 外部からメールを受信するためのテキストを変更する

メッセージ リスト ウィンドウをカスタマイズするには

- 必要に応じて以下のようにファイルを編集します。
 - メッセージ リストの表示方法を変更するには、mbox_fs.html ファイルの listFrameHTML() 関数を編集します。
 - カラム ヘッダーのテキストを変更するには、言語 /i18n.js ファイルの search results、date、from、to、size、および subject に対する i18n[] 値を編集します。
 - [外部メールの収集] リンクのテキストを変更するには、言語/i18n.js ファイルの i18n['collect long'] を編集します。
 - メッセージの表示順序を変更するには、main.js ファイルの始めの方にある defaults[] の値を変更します。

listFrameHTML() は、mbox_fs.html の getSortHeader() を呼び出して、カラム ヘッダーがクリックされた際に main.js の sortMsgs() が適切に呼び出されるようにします。また、listFrameHTML() は「外部メールの収集」ハイパーリンクを main.js の collect() にリンクします。

例 - メッセージ リスト ウィンドウのカスタマイズ

図 3-6 は、メッセージが新着順に表示されるようにデフォルト設定を変更し、さらに「外部メールの収集」リンクのテキストを変更した場合の例です。

図 3-6 メッセージ リスト ウィンドウのカスタマイズ例

<input type="checkbox"/>	送信日時	差出人	サイズ	件名
<input type="checkbox"/>	10:02 午前	テスト テスト	2K	メッセージ - アタッチメント
<input type="checkbox"/>	10:00 午前	テスト テスト	1K	テスト
<input type="checkbox"/>	9:59 午前	テスト テスト	1K	テスト
<input type="checkbox"/> 全メッセージを選択				
3 メッセージ (2 未開封) - 8K (無制限) - 6 メッセージ合計 (無制限) 他のサービからメッセージを受信				

コード例 3-5 およびコード例 3-6 は、それぞれ編集後の main.js および en/i18n.js を示しています。

コード例 3-5 メッセージリスト ウィンドウのレイアウトを変更した場合 (main.js)

```
var defaults = new Array(
  .....
  'meSortOrder', 'last',
  .....
)
```

コード例 3-6 メッセージリスト ウィンドウのテキストを変更した場合 (en/i18n.js)

```
// POP3 Collection
.....
i18n['collect long'] = '他のサーバからメッセージを受信'
```

メッセージ表示ウィンドウのカスタマイズ

この節では、Messenger Express のメッセージ表示ウィンドウ (図 3-7 を参照) をカスタマイズする方法について説明するとともに、ファイルの編集例を紹介します。

図 3-7 Messenger Express のメッセージ表示ウィンドウ

差出人	テスト テスト <test@jeangrey.red.iplanet.com> 差出人の追加
送信日時	火曜日, 3 月 20, 2001 9:37 午前
宛先	test@jeangrey.red.iplanet.com
Cc	test1@jeangrey.red.iplanet.com
件名	テスト
テスト	

メッセージ表示ウィンドウに関するカスタマイズの内容

Messenger Express のメッセージ表示ウィンドウは、以下のようなカスタマイズができます。

- メッセージの表示方法を変更する
- ウィンドウやメッセージのレイアウトを変更する
- テキストを変更する

メッセージ表示ウィンドウをカスタマイズするには

- 必要に応じて以下のようにファイルを編集します。
 - メッセージの表示方法を変更するには、`msg_fs.html` ファイルの `listFrameHTML(doc)` 関数を編集します。
 - デフォルトのテキストを変更するには、`言語/i18n.js` ファイルの `// Message Headers` セクションおよび `// Message` セクションの `i18n[]` 値を編集します。
 - メッセージの表示方法のデフォルト設定（行の折り返しなど）を変更するには、`main.js` ファイルの始めの方にある `defaults[]` の値を編集します。

例 - メッセージ表示ウィンドウのカスタマイズ

図 3-8 は、[件名] を [宛先] の上に移動した場合の例です。

図 3-8 メッセージ表示ウィンドウのカスタマイズ例



コード例 3-7 は、編集後の msg_fs.html ファイルを示しています。

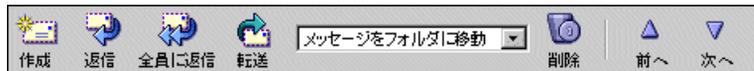
コード例 3-7 メッセージ表示ウィンドウのレイアウトを変更した場合

```
function listFrameHTML(doc) {
  ....
  s += header('from') + header('date') + header('subject') + header('to') +
  header('cc')
  ....
}
```

[メッセージ] ツールバーのカスタマイズ

この節では、Messenger Express の [メッセージ] ツールバー (図 3-9 を参照) をカスタマイズする方法について説明するとともに、ファイルの編集例を紹介します。

図 3-9 Messenger Express の [メッセージ] ツールバー



[メッセージ] ツールバーに関するカスタマイズの内容

Messenger Express の [メッセージ] ツールバーは、以下のようなカスタマイズができます。

- ページに対するツールバーの相対的レイアウトを変更する
- ツールバー内部のレイアウトを変更する
- グラフィックに関連付けられているテキストを変更する

[メッセージ] ツールバーをカスタマイズするには

- 必要に応じて以下のようにファイルを編集します。
 - ページに対する相対的レイアウトを変更するには、main.js ファイルの toolFrame() 関数を編集します。
 - ツールバー内部のレイアウトやグラフィックを変更するには、msg_fs.html ファイルの getToolbar() 関数を編集します。

- ツールバーのグラフィックに関連付けられているテキストを変更するには、言語 / i18n.js ファイルの compose、reply、replay all、forward、file msg、delete、undelete、previous、next に対する i18n[] 値を編集します。

msg_fs.html の getToolbar() は、色の項目とテキストだけのバージョンの項目などを制御する main.js の toolbar() を呼び出すことにより、コードをアセンブルし、各関数をグラフィックに割り当てます。

また、msg_fs.html の getToolbar() は、main.js の folderSelection() を呼び出してドロップダウンフォルダリストを生成します。

クリックに対応できるように msg_fs.html の getToolbar() によって各ツールに割り当てられている関数は、以下のとおりです。

- 作成: main.js の compose(\ 'new\ ')
- 返信: main.js の compose(\ 'reply\ ')
- 全員に返信: main.js の compose(\ 'replyall\ ')
- 転送: main.js の compose(\ 'forward\ ')
- メッセージをフォルダに移動: parent.move()
- 削除 / 削除解除: parent.delmsg()
- 前へ: parent.prev()
- 次へ: parent.next()

例 - [メッセージ] ツールバーのカスタマイズ

図 3-10 は、[作成] を右端へ移動して独立させ、[前へ] を [戻る] に変更した場合の例です。

図 3-10 [メッセージ] ツールバーのカスタマイズ例



コード例 3-8 および コード例 3-9 は、それぞれ編集後の msg_fs.html および en/i18n.js ファイルを示しています。

コード例 3-8 [メッセージ] ツールバーのレイアウトを変更した場合 (msg_fs.html)

```
function getToolbar() {
  ....
  main.toolbar(
    ....
    i18n['next'], 'parent.next()', n ? 'imx/next-1.gif' : 'imx/next-0.gif', 27, 25, n,
```

コード例 3-8 [メッセージ] ツールバーのレイアウトを変更した場合 (msg_fs.html)

```

null, null, 'imx/divider.gif', 2, 24, false,
i18n['compose'], 'main.compose("new")', 'imx/compose.gif', 27, 25, true)
.....
}

```

コード例 3-9 [メッセージ] ツールバーのテキストを変更した場合 (en/i18n.js)

```

// Tool Bars
.....
i18n['previous'] = '戻る'

```

メッセージ作成ウィンドウのカスタマイズ

この節では、Messenger Express のメッセージ作成ウィンドウ (図 3-11 を参照) をカスタマイズする方法について説明するとともに、ファイルの編集例を紹介します。

図 3-11 Messenger Express のメッセージ作成ウィンドウ



メッセージ作成ウィンドウに関するカスタマイズの内容

Messenger Express のメッセージ作成ウィンドウは、以下のようなカスタマイズができます。

- ウィンドウ内のツールの位置を変更する
- ツールのテキストを変更する

メッセージ作成ウィンドウをカスタマイズするには

- 必要に応じて以下のようにファイルを編集します。
 - ツールバーをカスタマイズするには、`comp_fs.html` ファイルの `getToolBar()` 関数を編集します。
 - ウィンドウ内のツールバー以外の部分を変更するには、`comp_fs.html` ファイルの `compFrameHTML()` 関数を編集します。
 - テキストを変更するには、`言語/i18n.js` ファイルの `// Message Composition` および `// Tool Bars` セクションの値を編集します。

`comp_fs.html` の `getToolBar()` は、色やテキストだけのバージョンなどの項目を制御する `main.js` の `toolbar()` を呼び出すことにより、コードをアセンブルし、各関数をグラフィックに割り当てます。また、`comp_fs.html` の `compFrameHTML()` は、`言語/i18n.js` ファイルの `i18n_compose_controls()` を呼び出して「宛先 / Cc/Bcc」コントロール領域を生成します。

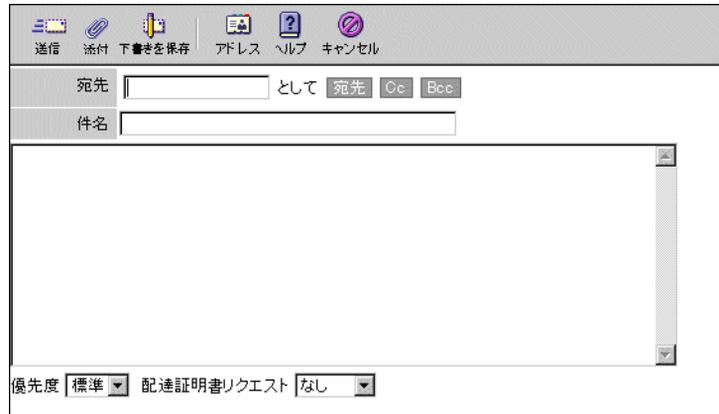
`comp_fs.html` の `getToolBar()` および `compFrameHTML()` によって割り当てられている関数は、以下のとおりです。

- 送信：`parent.send('\smtp\')`
- アドレス：`parent.lookup()`
- 添付：`parent.attach()`
- 下書きを保存：`parent.send('\draft\')`
- ヘルプ：`main.js` の `help(1007399)`
- キャンセル：`parent.cancel()`
- 宛先 / Cc/Bcc：`parent.add()`

例 - メッセージ作成ウィンドウのカスタマイズ

図 3-12 は、[アドレス]を境界バーと[ヘルプ]の間に移動し、[受取人の追加]を[宛先]に変更した場合の例です。

図 3-12 メッセージ作成ウィンドウのカスタマイズ例



コード例 3-10 およびコード例 3-11 は、それぞれ編集後の comp_fs.html および en/i18n.js を示しています。

コード例 3-10 メッセージ作成ウィンドウのレイアウトを変更した場合 (comp_fs.html)

```
function getToolbar() {
  ....
  i18n['send'], 'parent.send("smtp")', 'imx/send.gif', 27, 25, true)
  if (!(main.cfg['meAutoQuote'] || main.cfg['meAutoQuote'] == 'false') &&
    (compose_type != 'new' && compose_type != 'draft')) {
    s += main.toolbar(
      i18n['quote'], 'parent.quote(true)', 'imx/quote.gif', 29, 25, true)
  }
  s += main.toolbar(
    i18n['attach'], 'parent.attach()', 'imx/attach_comp.gif', 24, 24, true,
    i18n['draft'], 'parent.send("draft")', 'imx/draft.gif', 27, 25, true,
    null, null, 'imx/divider.gif', 2, 24, false,
    i18n['lookup'], 'parent.lookup()', 'imx/address.gif', 27, 25, true,
    i18n['help'], 'main.help(1007399)', 'imx/help.gif', 27, 25, true,
    ....
  )
}
```

コード例 3-11 メッセージ作成ウィンドウのテキストを変更した場合 (en/i18n.js)

```
// Message Composition
...
i18n['recipient'] = '宛先'
```

アドレス (ディレクトリ検索) ウィンドウのカスタマイズ

この節では、Messenger Express のアドレス (ディレクトリ検索) ウィンドウ (図 3-13 を参照) をカスタマイズする方法について説明するとともに、ファイルの編集例を紹介します。

図 3-13 Messenger Express のアドレス (ディレクトリ検索) ウィンドウ



アドレス (ディレクトリ検索) ウィンドウに関するカスタマイズの内容

Messenger Express のアドレス (ディレクトリ検索) ウィンドウは、以下のようなカスタマイズができます。

- ウィンドウ全体の外観を変更する
- 検索コントロールおよびそのテキストを変更する
- その他のテキストを変更する

アドレス (ディレクトリ検索) ウィンドウをカスタマイズするには

- 必要に応じて以下のようにファイルを編集します。
 - ウィンドウ全体の外観を変更するには、`ldap_fs.html` ファイルの `searchFrameHTML()`、`listFrameHTML()`、および `addFrameHTML()` 関数を編集します。
 - 検索コントロールおよびそのテキストを変更するには、`言語/i18n.js` ファイルの `i18n_ldap_controls()` を編集します。
 - その他のテキストを変更するには、`言語/i18n.js` ファイルの `// LDAP Lookup` セクションの値を編集します。

`searchFrameHTML()` および `addFrameHTML()` によって各ボタンに割り当てられている関数は、以下のとおりです。

- 検索: `parent.doSearch()`
- キャンセル: `parent.cancel()`
- 宛先 /Cc/Bcc: `parent.add()`

例 - アドレス (ディレクトリ検索) ウィンドウのカスタマイズ

図 3-14 は、[ローカルディレクトリを検索] というテキストを [iPlanet ディレクトリを検索] に変更した場合の例です。

図 3-14 アドレス (ディレクトリ検索) ウィンドウのカスタマイズ例

The screenshot shows a search window with a dropdown menu set to 'iPlanet ディレクトリを検索' (Search iPlanet Directory). To the right of the dropdown is the text '人またグループの' (of person or group). Below this is a search criteria section with a dropdown for 'フルネーム' (Full Name) and a dropdown for '含む' (Contains), followed by an empty text input field and a '検索' (Search) button. At the bottom right of the window are '完了' (Done) and 'ヘルプ' (Help) buttons.

コード例 3-12 は、編集後の `en/i18n.js` ファイルを示しています。

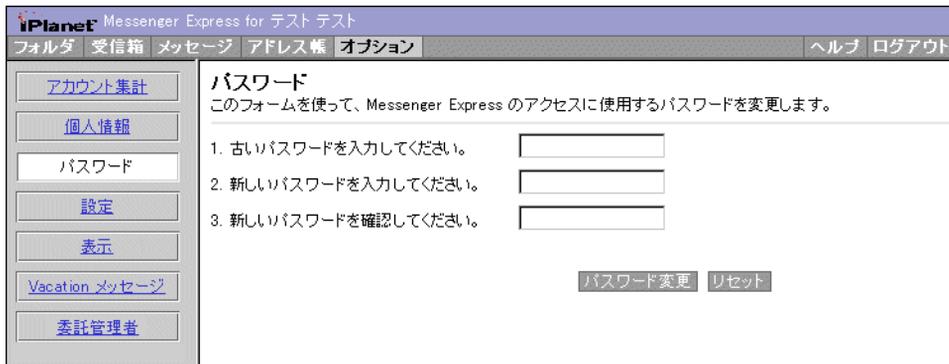
コード例 3-12 アドレス ウィンドウのテキストを変更した場合

```
function i18n_ldap_controls() {  
    .....  
    '<select name="dir">\n' +  
    '<opti'<select name="dir">\n' + on value="3 200">iPlanet ディレクトリを検索  
</option>\n' +  
    .....  
}
```

オプション ウィンドウのカスタマイズ

この節では、Messenger Express のオプション ウィンドウ (図 3-15 を参照) をカスタマイズする方法について説明するとともに、ファイルの編集例を紹介します。

図 3-15 Messenger Express のオプション ウィンドウ



オプション ウィンドウに関するカスタマイズの内容

Messenger Express のオプション ウィンドウは、以下のようなカスタマイズができます。

- ウィンドウやオプションのレイアウトを変更する
- テキストを変更する

オプション ウィンドウをカスタマイズするには

- 必要に応じて以下のようにファイルを編集します。
 - オプションやそのレイアウトを変更するには、`opts_fs.html` ファイルの `toggleFrameHTML()` 関数を編集します。
 - ウィンドウ内のテキストを変更するには、`言語/i18n.js` ファイルの `// Options` セクションの `i18n[]` 値を変更します。

例 - オプション ウィンドウのカスタマイズ

図 3-16 は、[Vacation メッセージ] を [個人情報] と [パスワード] の間に移動し、[パスワード] フォームの説明部分を [このフォームを使って Mozilla Super Speedy Web Mail へのアクセスに使用するパスワードを変更します。] に変更した場合の例です。

図 3-16 オプション ウィンドウのカスタマイズ例

コード例 3-13 およびコード例 3-14 は、それぞれ編集後の `opts_fs.html` および `en/i18n.js` ファイルを示しています。

コード例 3-13 オプション ウィンドウのレイアウトを変更した場合 (`opts_fs.html`)

```
function toggleFrameHTML() {
  ....
  getToggle(main.i18n['personal'], 'personal',
    'javascript:parent.toggle("personal")') +
  getToggle(main.i18n['vacation'], 'vacation',
    'javascript:parent.toggle("vacation")') +
  getToggle(main.i18n['password'], 'password',
    'javascript:parent.toggle("password")') +
  ....
}
```

コード例 3-14 オプション ウィンドウのテキストを変更した場合 (en/i18n.js)

```
// Options
.....
i18n['passwd exp'] = 'このフォームを使って Mozilla Super Speedy Web Mail へのアクセスに使用
するパスワードを変更します。'
```

フォルダ ウィンドウのカスタマイズ

この節では、Messenger Express のフォルダ ウィンドウ (図 3-17 を参照) をカスタマイズする方法について説明するとともに、ファイルの編集例を紹介します。

図 3-17 Messenger Express のフォルダ ウィンドウ



フォルダ ウィンドウに関するカスタマイズの内容

Messenger Express のフォルダ ウィンドウは、以下のようなカスタマイズができます。

- ツールの位置を変更する
- ツールやフォルダのテキストを変更する

フォルダ ウィンドウをカスタマイズするには

- 必要に応じて以下のようにファイルを編集します。
 - フォルダ ツールバーをカスタマイズするには、fldr_fs.html ファイルの getToolbar () 関数を編集します。
 - ウィンドウ内のその他の部分をカスタマイズするには、fldr_fs.html ファイルの listFrameHTML () 関数を編集します。

- [外部メールの収集] ハイパーリンクのテキストを変更するには、言語 /i18n.js ファイルの i18n['collect long'] を編集します。
- ウィンドウ内のその他のテキストを変更するには、言語 /i18n.js ファイルの // Folders セクションを編集します。

fldr_fs.html の getToolbar() および listFrameHTML() によってツールやリンクに割り当てられている関数は、以下のとおりです。

- 更新:main.js の refreshFolders()
- 作成:main.js の compose('\new')
- 新規:parent.addFolder()
- 名前の変更:parent.renameFolder()
- フォルダの移動:parent.moveFolder(options[selectedIndex].value)
- 削除:parent.delFolder()
- フォルダの選択:parent.select('i')

例 - フォルダ ウィンドウのカスタマイズ

図 3-18 は、[更新]および[作成]を他のツールと離して右端に移動した場合の例です。

図 3-18 フォルダ ウィンドウのカスタマイズ例

	メッセージ	サイズ
個人フォルダ		
受信箱	3	4K
一時保管	0	0K
送信箱	3	3K
ごみ箱	0	0K
	6	8K

[外部メールの収集](#)

コード例 3-15 は、編集後の fldr_fs.html ファイルを示しています。

コード例 3-15 フォルダ ウィンドウのレイアウトを変更した場合

```
function getToolbar() {
    ....
    main.toolbar(
    i18n["new folder"], 'parent.addFolder()', 'imx/fldr_new.gif', 27, 25, true,
    i18n['rename'], 'parent.renFolder()', 'imx/fldr_edit.gif', 27, 25, true) +
    ....
    main.toolbar(
    i18n['delete'], 'parent.delFolder()', 'imx/delete.gif', 27, 25, true,
    null, null, 'imx/divider.gif', 2, 24, false,
    i18n['update'] ? i18n['update'] : i18n['get mail'], 'main.refreshFolders()',
    'imx/pull.gif', 27, 25, true,
    i18n['compose'], 'main.compose("new")', 'imx/compose.gif', 27, 25, true)
    ....
}
```

高度な機能のカスタマイズ

この章では、高度なカスタマイズを実行する際の参考情報として、カスタマイズ可能な HTML ファイルと Messenger Express 5.0 ユーザ インターフェイスを紹介します。

この章には、以下の項目があります。

- 高度なカスタマイズについて
- Messenger Express ユーザ インターフェイスのカスタマイズ可能な機能

高度なカスタマイズについて

第 2 章「一般機能のカスタマイズ」および第 3 章「ユーザ インターフェイス機能のカスタマイズ」で説明した機能の他にも、Messenger Express にはカスタマイズできる機能が数多くあります。ただし、これらの機能のカスタマイズするには、JavaScript について十分に理解している必要があります。また、JavaScript ファイルを再設定したような場合には、移行上の問題が発生することもあります。

注 この章では、高度なカスタマイズに関するコード例を紹介していません。また、読者には JavaScript および HTML に関する十分な知識があることを前提としています。

Messenger Express ユーザ インターフェイスのカスタマイズ可能な機能

表 4-1 に、Messenger Express ユーザ インターフェイスのカスタマイズ可能な機能を一覧表示します。

表 4-1 Messenger Express ユーザ インターフェイスのカスタマイズ可能な機能

機能	ファイル
添付ファイル	attach_fs.html
他のサーバからのメール収集	collect_fs.html
メッセージの作成	comp_fs.html
フォルダ管理タブ	fldr_fs.html
アドレス検索	ldap_fs.html
メールボックス管理タブ	mbox_fs.html
メッセージ管理タブ	msg_fs.html
個人用オプション管理	opts_fs.html
配達証明書	receipt_fs.html

添付ファイルのオプション

添付ファイル機能に関して、次のオプションを変更することができます。

- [Browse (参照)] ボタン
- 添付、キャンセル、ヘルプ (ボタン)

HTML ファイル マッピング

添付ファイル機能を制御する HTML ファイルは attach_fs.html です。

「他のサーバからのメール収集」に関するオプション

「他のサーバからのメール収集」機能に関して、次のオプションを変更することができます。

- POP サーバ名 (テキストフィールド)
- POP ユーザ ID (テキストフィールド)
- パスワード (テキストフィールド)
- サーバからメッセージを削除 (選択ボタン)

- フォルダに保存 (リスト ボックス)
- 収集、キャンセル、ヘルプ (ボタン)

HTML ファイル マッピング

「他のサーバからのメール収集」機能を制御する HTML ファイルは `collect_fs.html` です。

メッセージの作成

ここには、基本的なメール機能があります。次のオプションを変更することができます。

- 新規メッセージの作成
- 差出人に返信
- メッセージの差出人およびその受取人全員に返信
- メッセージの転送
- メッセージをフォルダに移動
- メッセージの削除
- 前 / 次のメッセージに移動

HTML ファイル マッピング

メッセージ作成機能を制御する HTML ファイルは `msg_fs.html` です。

フォルダ管理タブ

フォルダ管理タブでは、サーバ側のフォルダにアクセスできます。次のオプションを変更することができます。

- フォルダの内容を更新
- 新規フォルダの作成
- フォルダの名前変更
- 選択したフォルダにメールを移動
- 既存フォルダの削除

HTML ファイル マッピング

フォルダ管理タブの機能を制御する HTML ファイルは `fldr_fs.html` です。

アドレス検索

アドレス検索機能は、LDAP ディレクトリにおけるアドレス検索を管理するためのものです。次のオプションを変更することができます。

- 選択した検索ディレクトリにおける人物の検索 (リスト ボックス)
- フルネームの挿入 (テキスト フィールド)
- フィールドの包含 (テキスト フィールド)
- 検索、閉じる (ボタン)
- 宛先、Cc、Bcc (ボタン)

HTML ファイル マッピング

アドレス検索機能を制御する HTML ファイルは `ldap_fs.html` です。

メールボックス管理タブ

メールボックス管理タブは、メールボックスにアクセスするための機能です。次のオプションを変更することができます。

- 新規メッセージの取り込み
- 新規メッセージの作成
- メッセージの検索
- 選択したフォルダにメッセージを移動
- メッセージの削除
- メッセージの削除解除
- メッセージの消去
- メッセージの選択
- 全メッセージの選択
- 外部メッセージの収集

HTML ファイル マッピング

メールボックス管理タブの機能を制御する HTML ファイルは `mbox_fs.html` です。

個人用オプション管理 ([オプション] タブ)

[オプション] タブの機能に関して、次のオプションを変更することができます。

- アカウント集計
- 個人情報 - 個人情報の変更
- パスワード - パスワードの変更と再設定
- 設定
- 表示
- Vacation メッセージ - Vacation メッセージの設定
- Delegated administrator (委託管理者)

HTML ファイル マッピング

[オプション] タブの機能を制御する HTML ファイルは `opts_fs.html` です。

配達証明書

配達証明書機能は、配達証明書を管理するためのものです。

HTML ファイル マッピング

配達証明書機能を制御する HTML ファイルは `receipt_fs.html` です。

Messenger Express サービスに対する 認証の管理

この章では、iPlanet Messenger Express 5.0 を使用した別の認証機構を統合する方法について説明します。

この章には、以下の項目があります。

- 認証の概要
- SDK に含まれているファイル
- SDK 設定の初期化
- SDK 検索
- SDK クリーンアップ
- 使用例

認証の概要

Messenger Express 5.0 を使用しているサイトの中には、ユーザを認証するための代替メソッドを提供しているものがあります。このようなサイトには、ある種のポータルサービスがあり、ユーザが最初に一度だけログイン情報を入力すると、そのユーザは再び認証を行わなくても様々なサービスを利用することができます。この場合、Messenger Express 5.0 のログイン機構は、他のサービスによって既に認証が行われたことを判断し、その認証元から提供された証明書に基づいてユーザを認識します。

一般に、これは「プロキシ認証」と呼ばれます。ほとんどの場合、ユーザは Web ページで自分のユーザ名とパスワードを入力してサイトに入ることができます。たとえば、Messenger Express は、ユーザがそのサイトからアクセスできるサービスの 1 つです。ユーザが Messenger Express を開くためのリンクをクリックしても、ユーザ名やパスワードの入力を求めるメッセージは表示されません。これは、このサービスが、サイトへのログイン時に入力したユーザ名とパスワードを参照しているためです。

Messenger Express の認証 SDK (Software Development Kit) には、以下の 3 つのコンポーネントがあります。本章で説明しているような認証方法を受け入れるためには、これらのコンポーネントに変更を加える必要があります。

- 初期化
- 検索
- クリーンアップ

SDK に含まれているファイル

認証 SDK を既存のコードに組み込むには、まず、DLL/ 共有オブジェクトへのリンクおよび呼び出しコードに `expapi.h` ヘッダー ファイルを含めます。プラットフォームによっては、他のシステム ライブラリへのリンクが必要になる場合もあります。

表 5-1 に、サーバ ルート `/bin/msg/authsdk` (インストール パッケージ) の内容を示します。

表 5-1 authsdk の内容

ファイル	説明
<code>libexpress.so/DLL</code>	SDK ライブラリ
<code>cgiauth.c</code>	API を使ったサンプル CGI のソース コード
<code>expapi.h</code>	API ユーザ用のヘッダー ファイル
<code>login.html</code>	サンプル コードの HTML ソース
<code>nsapiauth.c</code>	API の使用に関するサンプル NSAPI プラグのソース コード
<code>README</code>	API とその使用方法に関する <code>readme</code> ファイル
<code>login.cgi</code>	コンパイル済みの CGI ファイル
<code>Makefile.sample</code>	<code>login.cgi</code> を構築するための <code>makefile</code> の例

SDK 設定の初期化

以下の関数は、他の関数を呼び出す際に必要な SDK 設定情報を初期化するためのものです。

```
int EXP_Init(
    char *pszLdapHost,
    char *pszLdapMatchAttrib,
    char *pszLdapDN,
    unsigned int iLdapPort,
```

```
char *pszLdapBindUser,
char *pszLdapBindPass,
char *pszAdminUser,
char *pszAdminPassword);
```

pszLdapHost は、ユーザを検索する LDAP サーバのホスト名または IP アドレスを含む NULL で終わっている文字列です。

pszLdapMatchAttrib は、LDAP 検索を行う際に、pszAdminUser パラメータの照合対象となる LDAP 属性を指定する NULL で終わっている文字列です。デフォルトは、ユーザ ID (uid) です。

pszLdapDN は、ユーザを検索するときに使う DN を指定する NULL で終わっている終了文字列です。

iLdapPort は、LDAP サーバがリスンしているポート番号を指定する整数です。

pszLdapBindUser および pszLdapBindPass は、Directory Server のバインド DN とパスワードを指定する文字列です。この文字列が NULL の場合、SDK は anonymous ユーザとしてバインドしようとします。

pszAdminUser および pszAdminPass は、Messaging Server に接続するときに使用する「プロキシ」ユーザ名とパスワードを含んだ文字列へのポインタです。これらが NULL になることはありません。

無事に初期化が行われると 0 が返され、初期化に失敗した場合はゼロ以外の数値が返されます。エラーが発生した場合は、問題の内容に応じて (ほとんどの場合はシステムの呼び出し) 適切な値が errno にセットされます。その後、これらのコードが標準の errno 値にマッピングされます。

SDK 検索

以下の関数は、特定のユーザとクライアントの IP アドレスに対するセッション ハンドルを生成するために使用されます。

```
int EXP_GenerateLoginURL(
    char *pszUser,
    char *pszClientAddress,
    char *pszMailHost,
    char *pszURL)
    pszUser は、ユーザ ID (uid) を含む NULL で終わっている文字列です。
    pszClientAddress は、クライアントの IP アドレスを表す文字列です。
```

pszMailHost は、ユーザのメール サーバのホスト名または IP アドレスを含む NULL で終わっている文字列です。このパラメータが NULL の場合は、このホストを決定するために (EXP_init() からの) LDAP サーバが検索されます。それ以外の場合は、指定されたメール ホストが使用されます。

4 番目のパラメータ `pszURL` は、この関数が URL を返すために呼び出し元によって割り当てられるバッファへのポインタです。この URL は 2048 バイト以下でなければなりません (終端 `NULL` を含む)。

この関数は、成功した場合に `0` を返し、失敗した場合にゼロ以外の数値を返します。失敗した場合には、もう一度 `errno` が適切な値に設定されます。

この関数によって返される文字列は、Messenger Express への接続時に使用されるログイン URL です。認証アプリケーション (ログイン CGI など) は、ローカルの認証条件に基づいてユーザを認証した後に、これらの関数を呼び出します。典型的な CGI の場合は、返される文字列を使って、URL を形成したり、HTTP ヘッダーや JavaScript を介してクライアント上に `cookie` を設定します。

SDK クリーンアップ

以下の関数は、SDK によって使われているリソースをシャットダウンしてクリーンアップするために呼び出されます。

```
int EXP_Shutdown()
```

一般に、簡単な CGI ではこの関数を呼び出す必要はありませんが、API を使用しているプラグインではリソースを回復して実行を続行したい場合があります。

この関数は、初期化に成功すると `0` を返し、失敗した場合はゼロ以外の数値を返します。また、`errno` は、エラーの内容に基づいて最も適切な値に設定されます。これらのコードも標準の `errno` 値にマッピングされます。

次の関数は、使用している SDK のバージョン番号を示す `NULL` で終わっている文字列への `const` ポインタを返します。

```
const char*EXP_GetVersion()
```

この値は、他のものに関連付けて使用することはできません。つまり、この文字列を特定のフォーマットで取り込んだり、この文字に特定の値を含めたりするようなコードを書くことはできません。この文字列は、使用しているバージョンを示す目的でのみ使用します。

バージョン番号に関する情報がない場合には、`NULL` が返されます。

Messenger Express サービスに接続してセッションを生成するときに、非標準のポートを使用するよう SDK に指示するには、次の関数を使用します。

```
void EXP_SetHttpPort(
    init iHttpPort)
```

特に設定を変更しない限り、SDK は標準の HTTP ポート (80) を使用します。この関数はスレッドセーフではなく、グローバルな値を設定します。スレッド環境でこの関数を使用する場合は、この関数の周りとして `EXP_GenerateLoginURL` 関数をロックする必要があります。

使用例

プロキシ認証 API をテストするには、まず `cgiauth.c` ファイルを開きます。そして、ファイルの冒頭部分のいくつかの `#define` ステートメントを設定用に編集します。

```
#define HTML_SOURCE_FILE "login.html"
#define BUFFER_SIZE 1024
#define MAIL_SERVER "mail.yourdomain.com"
#define DIRECTORY_SERVER "directory.yourdomain.com"
#define DN "o=yourdomain.com"
#define ADMINNAME "admin"
#define ADMINPASS "admin"
```

`MAIL_SERVER`、`DIRECTORY_SERVER`、`DN`、`ADMINNAME`、および `ADMINPASS` の値を使用しているシステム構成に合わせて変更します。たとえば、メールサーバが `mail.mcom.com`、Directory Server が `ldap.mcom.com`、管理ユーザ名およびパスワードが `sysadmin` であるとする、これらの行は以下のようになります。

```
#define HTML_SOURCE_FILE "login.html"
#define BUFFER_SIZE 1024
#define MAIL_SERVER "mail.mcom.com"
#define DIRECTORY_SERVER "ldap.mcom.com"
#define DN "o=mcom.com"
#define ADMINNAME "sysadmin"
#define ADMINPASS "sysadmin"
```

この後、`cgiauth.c` ファイルを実行可能な CGI ファイル内にコンパイルします。そして、コンパイルした CGI ファイルを実行できるように HTTP サーバを設定します。Web ブラウザ内で CGI スクリプトを実行すると、どこかに問題がない限り `login.html` ファイルに基づく簡単なログイン画面が表示されます。そこに有効なユーザ名とパスワードを入力すると、Messenger Express に対するユーザ認証を行わずに Messenger Express セッションを開始することができます。

これは、プロキシ認証の使い方の一例にすぎません。この例を参考にして、各自の環境での SDK の使い方を検討してください。

使用例

索引

A

addFrameHTML() 関数, 47
attach_fs.html ファイル, 54

B

[Bcc] ボタン, 56

C

[Cc] ボタン, 56
CGI, 60
collect_fs.html ファイル, 54
comp_fs.html ファイル, 54, 44
compFrameHTML() 関数, 44
compose("new") 関数, 36

D

delmsg() 関数, 36
displayFolders() 関数, 34
displayMbox() 関数, 34

E

en/i18n.js ファイル, 37, 42, 47

F

fldr_fs.html ファイル, 54, 50, 55

G

getToolbar() 関数, 36, 44

H

help() 関数, 34

I

i18n.js ファイル, 12, 35
i18n_ldap_controls() 関数, 47
i18n_tab_header() 関数, 30

J

JavaScript, 11, 53

L

ldap_fs.html ファイル, 54, 47, 56
LDAP ディレクトリ, 56

listFrameHTML() 関数, 38
listHTML() 関数, 47
listFrameHTML(doc) 関数, 40
logout() 関数, 34

M

main.js ファイル, 12, 27, 29, 31, 34, 35, 38, 40, 41
mbox_fs.html ファイル, 54, 36, 37, 38, 56
Messenger Express
 SDK (Software Development Kit), 60
 関数の概要, 14
 コンポーネント, 12
 ユーザ インターフェイスのカスタマイズ可能な
 機能, 54
 ローカリゼーション, 13
msg_fs.html ファイル, 54, 40, 41, 42, 55

O

opts_fs.html ファイル, 54, 49, 57

P

parent.exmsg() 関数, 36
parent.move() 関数, 36
parent.srch() 関数, 36
parent.undelmsg() 関数, 36
POP サーバ, 54
POP ユーザ ID, 54

R

receipt_fs.html ファイル, 54, 57
refreshColorSet() 関数, 27
refreshMbox() 関数, 34, 36

S

SDK (Software Development Kit), 60
searchHTML() 関数, 47
selectMsg() 関数, 34
selectOptions() 関数, 34

T

toggleFrameHTML() 関数, 49
toolFrame() 関数, 29, 30, 31, 34, 36, 41

U

ui, 27

V

Vacation メッセージ, 57

あ

アカウント集計, 57
[宛先] ボタン, 56
アドレス (ディレクトリ検索) ウィンドウ, 46
アドレス検索, 56

い

委託管理者, 20, 57

お

オプション ウィンドウ, 48
オプション画面, 19
オプション画面に関連する関数, 19
[オプション] タブ, 57

か

カスタマイズ

概要, 11

カスタマイズ可能ファイルの場所, 12

高度な機能, 53

カラーセット, 26

関数

addFrameHTML(), 47

compFrameHTML(), 44

compose("new"), 36

delmsg(), 36

displayFolders(), 34

displayMbox(), 34

getToolbar(), 36, 44

help(), 34

i18n_ldap_controls(), 47

i18n_tab_header(), 30

listFrameHTML(), 38, 47

listFrameHTML(doc), 40

logout(), 34

parent.exmsg(), 36

parent.move(), 36

parent.srch(), 36

parent.undelmsg(), 36

refreshColorSet(), 27

refreshMbox(), 34, 36

searchHTML(), 47

selectMsg(), 34

selectOptions(), 34

toggleFrameHTML(), 49

toolFrame(), 29, 30, 31, 34, 36, 41

き

[キャンセル] ボタン, 54

け

言語/default.html ファイル, 24

言語/i18n.js ファイル, 40, 30, 34, 36, 42, 44, 47, 38

検索, 56

こ

コーナー ロゴとリンク, 29

個人情報, 57

個人用オプション管理, 57

ごみ箱フォルダ, 36

さ

作成ウィンドウ, 20

作成ウィンドウに関する関数, 21

[参照] ボタン, 54

し

[収集] ボタン, 55

受信箱画面, 15

受信箱画面に関する関数, 15

た

タイトル テキスト, 30

て

添付ファイル, 54

[添付] ボタン, 54

に

認証

SDK (Software Development Kit), 60

概要, 59

クリーンアップ, 62

検索, 61

使用例, 63

初期化, 60

ファイルとその説明, 60

は

配達証明書, 57

ふ

フォルダ ウィンドウ, 50

フォルダ画面, 18

フォルダ画面に関連する関数, 18

フォルダ管理タブ, 55

ブランドイメージ, 31

プロキシ認証, 59

へ

[ヘルプ] ボタン, 54

ほ

ポータル サービス認証, 59

他のサーバからのメール収集, 54

め

メイン機能タブ, 34

メールボックス管理タブ, 56

[メールボックス] ツールバー, 35

メッセージ画面, 16

メッセージ画面に関連する関数, 17

メッセージ作成ウィンドウ, 43

メッセージ作成ウィンドウのオプション, 44

[メッセージ] ツールバー, 41

[メッセージ] ツールバーのオプション, 41

メッセージの作成, 55

メッセージ表示ウィンドウ, 39, 40

メッセージリスト ウィンドウ, 37, 38

ろ

ローカリゼーション

特定のロケール, 13

ロケール特有のカスタマイズ可能ファイルの場所, 14

ログイン画面, 24